

1 令和元年度のがん検診チェックリスト遵守率(長野県がん検診実施状況調査)

がん検診事業評価のためのチェックリストにおいて、未達成の項目がある場合は、対応策を検討してください。

検診を受託する市町村が、チェックリストの遵守率を改善できるよう、ご協力をお願いします。
 なお、長野県内の市町村で未達成が多い項目は、以下のとおりです。

- 受診勧奨を行った住民のうち未受診者全員に対し、再度の受診勧奨を個人毎(手紙・電話・訪問等)に行いましたか
- 要精検者全員に対し、受診可能な精密検査機関名(医療機関名)の一覧を提示しましたか
- 上記の一覧に掲載したすべての精密検査機関には、あらかじめ精密検査結果の報告を依頼しましたか
- 委託先検診機関(医療機関)を、仕様書の内容に基づいて選定しましたか
- 仕様書(もしくは実施要綱)の内容は、「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を満たしていましたか
- 検診終了後に、委託先検診機関(医療機関)で仕様書(もしくは実施要綱)の内容が遵守されたことを確認しましたか
- 検診機関(医療機関)に精度管理評価を個別にフィードバックしましたか
- 「検診機関用チェックリスト」の遵守状況をフィードバックしましたか
- 検診機関(医療機関)毎のプロセス指標値を集計してフィードバックしましたか
- 上記の結果をふまえ、課題のある検診機関(医療機関)に改善策をフィードバックしましたか

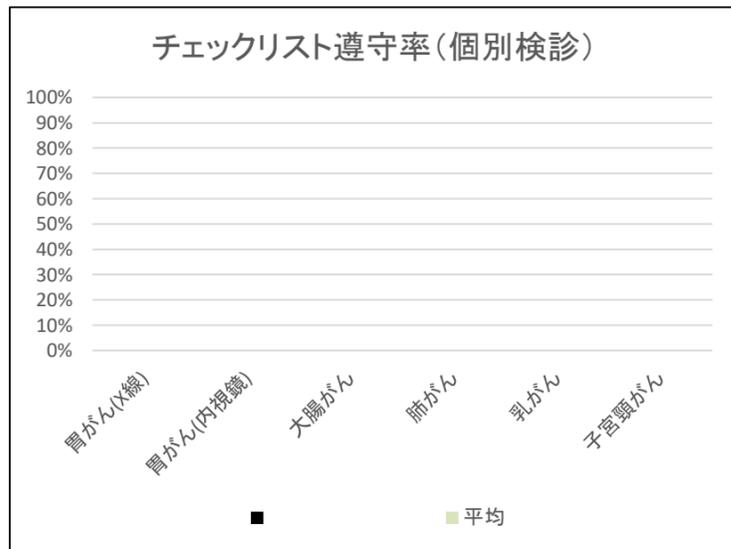
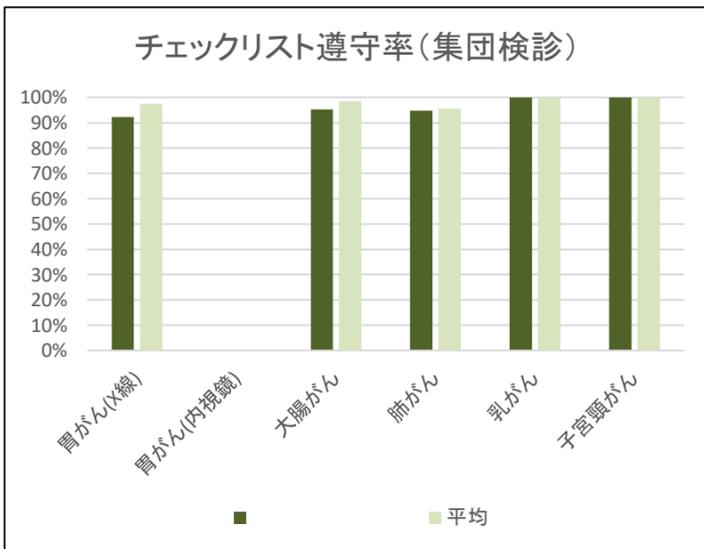
対応策の検討に当たっては、「国立がん研究センター「自治体担当者のためのがん検診精度管理マニュアル<第2版>」を参考にしてください。

https://ganjoho.jp/med_pro/cancer_control/screening/screening_manual.html
 (国立がん研究センター がん情報サービス)

※評価基準について A:遵守率100%、B:80~100%未満、C:60~80%未満、D:60%未満、—:検診実施なし(評価対象外)、指針外の検診実施、未回答等

【集団検診】		胃がん(X線)	胃がん(内視鏡)	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
		92.3%	回答なし	95.2%	94.7%	100.0%	100.0%
	平均	97.4%	回答なし	98.4%	95.6%	100.0%	100.0%
	事業評価	B	—	B	B	A	A

【個別検診】		胃がん(X線)	胃がん(内視鏡)	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
		回答なし	回答なし	回答なし	回答なし	回答なし	回答なし
	平均	回答なし	回答なし	回答なし	回答なし	回答なし	回答なし
	事業評価	—	—	—	—	—	—



2 令和元年度のプロセス指標値(長野県がん検診実施状況調査)

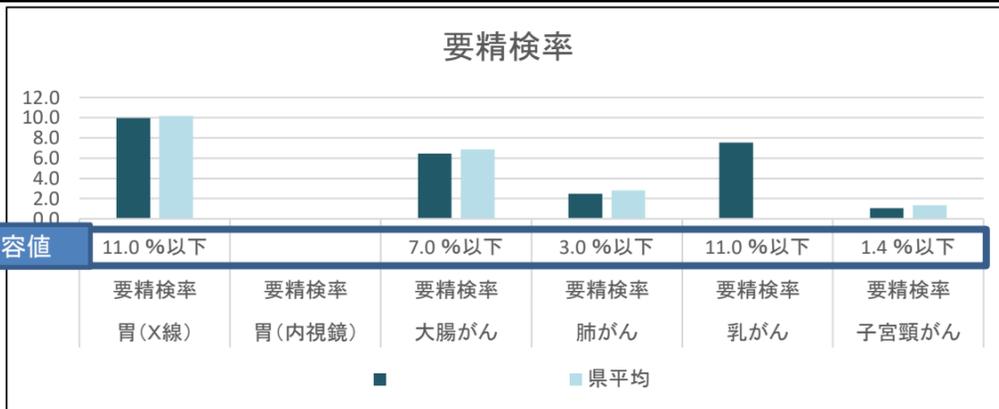
○精密検査受診率の目標値は90%です。90%を下回っている部位については、対応策を検討してください。
 ➡ 精密検査の結果把握に努めてください。また、精検結果について市町村と情報共有してください。

○県内では特に、大腸がんと子宮頸がんの精密検査受診率が低い傾向にあります。

【要精検率】

精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標

★極端な高値、低値でなく、適切な範囲にあることが望ましい

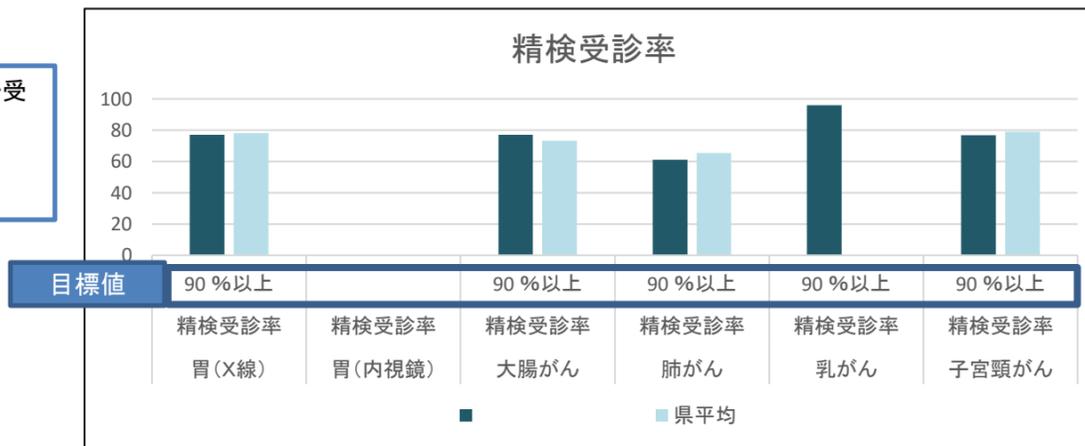


指標値	予想される原因	検討内容
高値	①受診者が有病率の高い集団に偏っている	有症状者が検診を受けていないか(有症状者は診療を受けるよう指導する)、有病率の高い年齢層、有病率の高い初回受診者に偏っていないか
	②偽陽性が多い	各検診機関の要精検の判定基準は適切か(陽性反応適中度が低い場合、本来は精検が不要な者を要精検と判定している可能性がある)
低値	①受診者が有病率の低い集団に偏っている	有病率の低い年齢層に偏っていないか(年齢層、受診歴等)
	②偽陰性が多い	各検診機関の要精検の判定基準、検査手技、読影等は適切か

【精検受診率】

要精検者が実際に精密検査を受信したかを測る指標

★高いことが望ましい

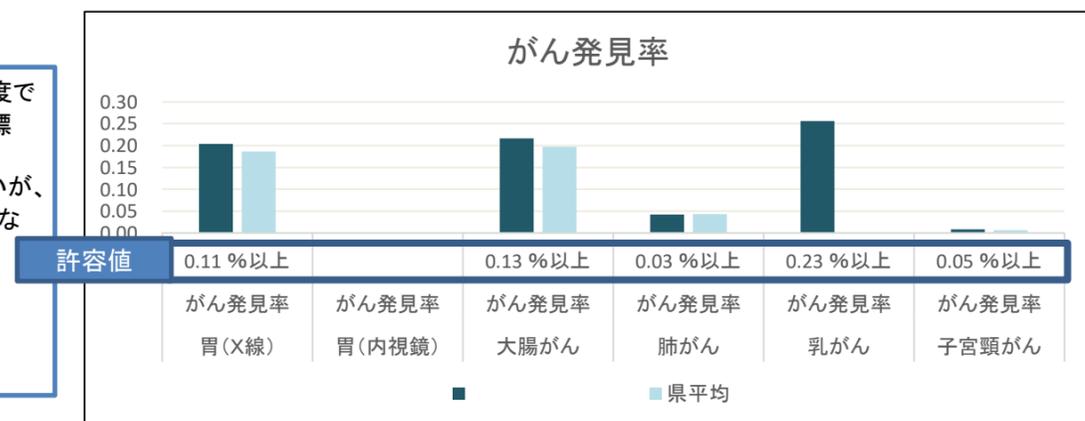


指標値	予想される原因	検討内容
高値	—(100%に近いことが理想)	
低値	①精検受診の有無について未把握が多い	精検受診の有無を確実に把握できる体制が出来ているか
	②精検結果の未把握が多い	精検結果を確実に把握できる体制が出来ているか(精検結果の報告・回収ルート)
	③精検の受診勧奨が適切でない	受診者に予め「要精検の場合は必ず精検を受けること」を伝え、かつ、全ての要精検者に精検の重要性を十分に伝えているか
	④精検の提供体制が不十分(キャパシティ、アクセス)	精検受診者の利便性

【がん発見率】

その検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標

★基本的に高いことが望ましいが、極端な高値、低値でなく、適切な範囲にあることが望ましい



【陽性反応適中度】

その検診において、効率よくがんを発見できたかを測る指標

★基本的に高いことが望ましいが、極端な高値、低値でなく、適切な範囲にあることが望ましい

